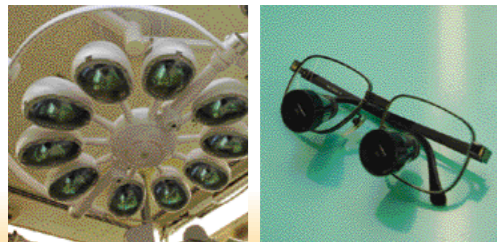




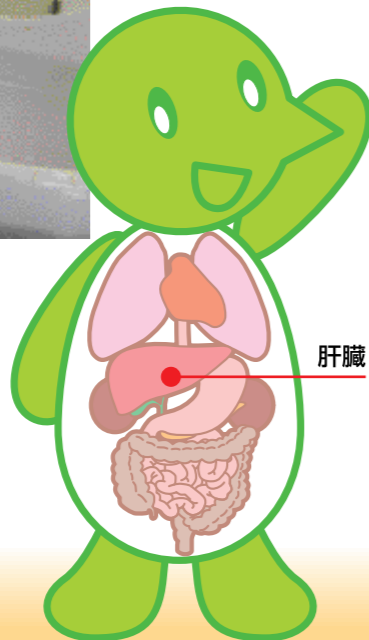
三重大学大学院医学系研究科・教授

上本 伸二 Uemoto, Shinji

[URL] <http://www.medic.mie-u.ac.jp/geka1/index.html>

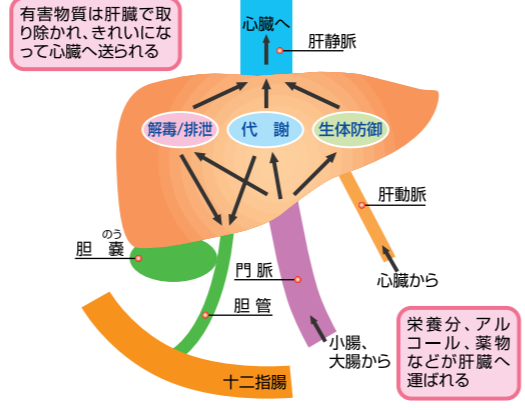


生体肝移植とは 肝臓病の新しい治療

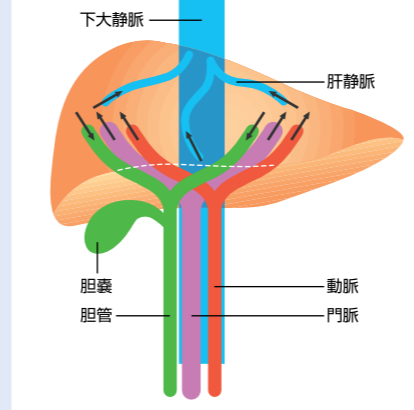


肝臓

肝臓の働き



解毒/排泄…有機物質を取り除き、尿として排泄
代謝…腸で消化吸収された栄養素を必要なものに作り変え、各臓器に送りだしたり、肝臓に貯蔵
生体防御…流入してくる細菌や異物を処理
 リンパ球など全身の免疫の役割



2つに分けることができる肝臓
 肝臓には、3つの血管がそれぞれ左右に分かれ、左右で同じ働きをしています。
肝動脈 = 肝臓に入る血管
門脈 = 肝臓に入る血管
肝静脈 = 肝臓から出る血管

特別な肝臓の能力“肝再生”

●生体肝移植ってどんな治療ですか

健康な人から肝臓の一部を切り取って患者さまに移植する治療を生体肝移植といいます。肝臓の一部を提供する人を生体間移植ドナーといいます。健康な人の肝臓は70%を切り取っても元の大きさになることができます。健康な時の肝臓の機能に戻ることができます。また、患者さまに移植された肝臓も大きくなり、患者さまの日常生活を支えることができるようになります。このように肝臓はその人の体に合わせて細胞分裂をくり返し、大きくなることのできる肝再生という特別な能力があります。肝臓の一部を切り取る肝切除術という手術が安全にできるようになり、1990年からわが国を始め世界中で生体肝移植が行われるようになりました。2004年から生体肝移植は健康保険が効くようになり、いままでは多くの大学病院で年間に400~500人の患者さまが生体肝移植を受けています。三重大学病院では年間に20~30人の患者さまが受けています。

●どんな患者さまが生体肝移植を受けるのですか

現在の医療では助からないいろんな種類の肝臓病の患者さまが生体肝移植を受けています。年間に約5万人の人が肝臓病で死亡していますが、大部分はC型肝炎ウイルスによるC型肝炎硬変と肝臓がんの患者さまです。その他にもB型肝炎ウイルスが原因のB型肝炎硬変、原発性胆汁性肝硬変や原発性硬化性胆管炎など様々な肝臓病があります。いずれの肝臓病にはいろんな治療方法がありますが、それらの治療方法の効果がなくなった時、このままでは助からないと診断された時に生体肝移植を受けることになります。

●どんな人が生体肝移植のドナーとなるのですか

わが国では生体肝移植のドナーは患者さまの親族に限定されています。ドナーは肝切除の手術を受けて約2週間の入院が必要ですが、職場に復帰するなど、もとの社会生活に戻るのには約2ヶ月の期間が必要となりますので、社会状況なども考えた上で、それぞれの患者さまの家族の中で相談してドナーを決められています。

ドナーの適応基準

【生体ドナー】
 生体肝移植で臓器を提供される方

【レシピエント】
 臓器提供を受ける方

倫理的

- 3親等以内のご家族(両親、成人された子供、兄弟、姉、妹、おじ、おば、甥、姪)あるいは配偶者。
- 自分の意思で提供を希望。

年齢

- 年齢は20歳以上65歳未満を原則

医学的

- 肉体的・精神的に健康。
- ウイルス感染症が無いこと。
- ドナーとレシピエントとの体格差のない方が望ましい。
- ABO式血液型が一致あるいは適合していることが望ましい。
- 組織適合検査:HLA(ヒト白血球抗原)タイピングで、GVHD(提供者のリンパ球がレシピエントの体内で増殖し攻撃すること)の可能性のある組み合わせで無いこと。

生体肝移植の費用
 私費診療の場合=手術当日から退院まで、平均1,000万円程度
 保健診療の場合=私費診療の3割程度

ケビン君 笑顔で帰国



ケビン・アナンティア・ブラダナ・スカンタ君は、父親のスカンタ・イ・マーデさんから肝臓の一部を移植し元気な笑顔で7月7日、日本を旅立っていきました。

ケビン君は、生後まもなく発症した「アラジール症候群」が2003年7月(5歳時)に末期肝硬変へ進展。また、右大腿骨病的骨折にて歩行不可能の状態、昨年末に余命数ヶ月と宣告された両親は、移植にかかる費用を借金し、一家で1月13日、バリ島より上本伸二教授を頼って三重大学附属病院にやってきました。

医療福祉支援センターでは、ケビン・プロジェクト(医学的コーディネータは、肝胆膵外科 櫻井洋至医師。生活、経済、福祉面のコーディネータは、医療福祉支援センター 原田理恵医療ソーシャルワーカー)を立ち上げ、滞在中の一家のサポートをはじめ、大学病院ならではの資源を活用し支援体制を整えることに全力を注ぎました。また、同時にマスコミの協力により支援組織の輪も広がり多くの方の暖かい善意が集まりました。(半年間で集まった善意は、940万円にも達しました。)

●ケビンプロジェクト●

【医療スタッフ】

小児科、外科、整形外科などにまたがり30人超

【長期滞在宿泊施設】

三重ファミリールーム運営委員会の協力にて安価で長期滞在

【言語(通訳)】

インドネシアからの三重大学の留学生5人に協力

【医療費や生活費等の経済的支援】

NPO法人「伊賀の伝丸」和田氏をはじめとした多くの人たちによる支援団体「ケビン君を支える会」が発足

